磯原新聞

梶山　一大

県庁主催！　浅田真央展

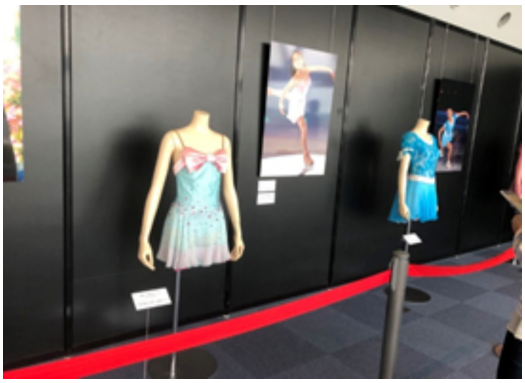
衣装やメダル、DVDに来場者殺到

茨城県庁で8日から17日まで行われた「浅田真央展」。同企会展8月18～19日に笠松運動公園で開かれる「浅田真央サンクウスツアー茨城講演」に合わせて実施される。浅田真央さん本人は「ソチ五輪のフリーの時の衣装はすごく思い出に残っているので、ぜひ見てほしい」と話した。

その浅田真央展には、衣装やメダルが展示された。その数は約70点程だという。他にも「浅田真央『Smile Forever』～美しき氷上の妖精～」のDVDが公開され、多くの来場者が足を止め、DVDを見ていた。

そこで最終日の17日にその会場である茨城県庁25階にいき「どの展示品が一番良かったですか？」というアンケートを行ってきた。すると多くの方が、衣装やメダルがよかったと話した。

来場者の方にお話を聞いてみると「他にも茨城出身の人の展示会をしてほしい」という声もあった。



県外からも来る浅田真央展

17日、最終日には多くの人が来場した。水戸市内、水戸市外、県外と様々なところから　きていた。県外からは、青森や栃木。兵庫から来場する人がいた。分かり易く、円グラフを用いて図に表してみた。（図1）

合計50人に聞いたところ、半数近くが市外と答えた。市内の人に話を聞いてみると、3割ほどの人が「近いから来ました」と答え、県外の人に話を聞くと「こっちでも浅田真央展やったんだけど、見逃したから来ました」と答えた。理由は人それぞれだだが、来た人全員に共通している部分は、この茨城県庁で行われた浅田真央展を楽しみにしていた、ということだ。

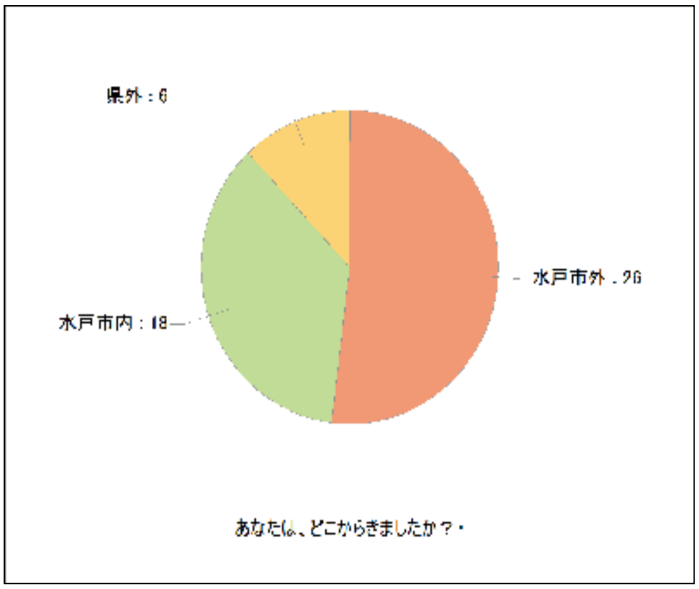


図1←

茨城県庁25階から見た正面入口側の景色←

茨城県の象徴　茨城県庁

各都道府県に存在する県庁。茨城の県庁は、水戸市にある。今回行われた「浅田真央展」もこの茨城県庁で行われた。

この茨城県庁は、25階に上がれることで有名で、その25階からの景色は凄く、北、南、西、東とそれぞれのフロアから景色を一望でき、晴れているときは、筑波山を見られ、雨の日には、少し肌寒い気温とその階にある展望カフェ「燦食」にある暖かい食べ物や飲み物を飲む。そうすると身体がポカポカしとても楽しい気分になれる。まさに一息つきたいときにおすすめの穴場スポットだ。ぜひ足を運んで見てほしい。